

平成29年度 日新小学校

学校評価のまとめ(学校関係者評価)

評価項目		目標値	結果		自己評価	改善策	学校関係者評価		
			1学期	2学期					
学力	1	1・先生や話をしている人の方を向いて話を聞くことができているですか。	80	88.0	91.7	教師が絶えず意識して指導することによって、児童に浸透しつつある。	意図的に場を設定し、声の大きさや相手を意識した話し方、ものを指示しての話し方など、話し方を繰り返し指導する。		
	2	2・聞く人の方を向いたり場所を移動したりして話すことができているですか。	70	95.2	92.3				
	3	5・決められた時間学習をしていますか。(低学年30分位・中学年45分以上・高学年60分以上)	85	91.6	88.7	取組期間中だが、ほとんどの児童が達成できている。	HWCWやトライアルカードの取組を継続実施する。また、頑張った児童に対し、表彰したり保護者に連絡したりして、児童のやる気を喚起する。さらに、保護者に内容面でも伝えていくことも大切。		
	4	3・お子さんは、家庭学習が習慣ついていますか。(低学年30分位・中学年45分以上・高学年60分以上)	保護者	85	81.9	83.6		児童との意識のずれが見られるものの、目標値に近い結果となっている。	
	5	2・学校は家庭学習の習慣がつくように方法や内容を工夫していますか。	保護者	85	87.5	91.0		HWCWやトライアルカードの取組が浸透してきた。	
心	6	7・自分にはよいところがあると思いますか。	70	85.6	76.8	目標値は達成できた。今後は、さらに高める手立てを打っていきたい。	「よいところ見つけ」を確実に行うなど、地道な取り組みを継続する。		
	7	お子さんは、嫌なことを言われたり、されたりしていませんか(人)。	保護者	0	0	2	保護者の意識の持ち方だが、このように思っている保護者がいることを重く受けとめたい。	職員はアンテナを高くし、小さな変化にも気づき、保護者と連携する。	小さな気づきがあれば、素早く保護者と連携する。
	8	11・進んで挨拶をしていますか。	83	90.1	90.5	校門での登校指導において、児童会が中心となってあいさつ運動を展開している成果が表れている。	挨拶は家庭・地域での指導されるべきである。今後、3者が連携し、挨拶の習慣を育成する。	アンケート結果や子どもの姿に、指導の成果として表れている。今後、地域との連携を一層強化する。	
	9	7・お子さんは、あいさつをする習慣を身に付けていますか。	保護者	83	79.7	78.8		「どの場面での挨拶」なのかを明確にしたアンケートにすると違う結果になるのかも・・・	継続指導する。
	10	12・もくもく掃除ができていますか。	90	89.2	93.5	床が白くなるまで磨いている。			
	11	14・学校のきまりや学級の約束を守っていますか。	90	97.0	97.0	日新の児童はルールを守ることができる。しかし、下校の仕方に問題がある。		下校に関しては、校外指導委員や見守りアイの協力を得る。	
	12	8・日新小の児童は、学校や公共のきまりを守って生活しようと心がけていますか。	保護者	90	84.2	90.2			
健康	13	15・めあてを決めて体力づくりに取り組んでいますか。(一輪車・水泳など)	90	91.6	88.1	一輪車大会以降、体力づくりの具体的な目当てがなくなったため、1学期末より低くなっている。	一輪車大会以降、持久走・縄跳び等の目標を設定する。また、取組状況を全校で交流することも重要。	各自が持久走・縄跳び等の目標を具体的に設定する。また、取組状況を全校で交流することも重要。継続指導する。	
	14	17・「早寝・早起き・朝ごはん」はできていますか。	85	93.4	87.5	早起き・朝ごはんはほぼ100%達成できているが、ゲームやSNS等で就寝が遅くなる児童がいる。			
	15	10・お子さんは、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを身に付けていますか。	保護者	85	76.7	77.6	児童評価より低い。児童は取り組み期間中、しかし保護者は日常の様子から評価しているのか・・・	これこそ保護者が真剣に取り組むべき事項。学級懇談会、地区懇談会で説明する。	長期の休みの後の崩れ気味の時期の実施は、保護者も子ども生活を意識できてよい。
	16	21・安全に気を付けて生活していますか。	95	98.2	96.4	廊下での歩行や日新の森でのあそびなど、ほとんどの児童が守れている。		やや調査内容が曖昧である。	
	17	12・学校は、児童が安全で安心して学べる環境整備に努めていますか。	保護者	95	93.8	95.7	蜂や危険箇所が見つかったら、後回しにせず素早く対応してきた。		絶えず危機意識をもって児童の管理にあたってほしい。
	18	11・学校は、児童が「自分の命は自分で守る」意識と力を身に付ける指導に努めていますか。	保護者	95	95.1	90.8	概ね良好。9月以降、訓練の実施状況等が保護者に知られていないためか・・・	学校だより等で、積極的に情報提供する。	通信やメール等で取組に対する協力を得る。